

★最新介護医療情報★

採血しアルツハイマー診断 京都医大開発、簡便迅速 (共同通信社 H29.9.5 配信)

アルツハイマー病かどうかを、腕から採取した血液を使って診断できる手法を開発したと、京都府立医大の徳田隆彦(とくだ・たかひこ)教授(神経内科学)らのチームが4日付の海外の専門誌電子版に発表した。徳田教授は「新手法は体への負担が少なく簡便で、正確、迅速に判別できる」と話している。

チームによると、「タウ」というタンパク質のうち、脳内に蓄積しやすいタイプのタウが増えるとアルツハイマー病になりやすいため、診断ではこの異常なタウの血中量を測定。これまで、脳脊髄液から検出する方法はあったが、背中に針を刺して採取する必要があった。

また、タウは、脳から血中にはごく微量しか移行しないため、測定が難しかった。チームは、タウに結合する抗体が目印になることを利用し、特殊な分析機器を導入して血中のタウを従来の千倍の感度で検出できるようにした。新手法で、60～80代の男女20人の血液を分析したところ、異常なタウの量は患者の方が高くなる傾向が確認でき、診断に使えることが分かったという。

将来、記憶テストなどの前に実施する患者の迅速スクリーニングなどに用いることを想定しており、実用化に向け関係企業との共同研究を検討するとしている。

リハケアハウスルピナス勢野の9月おもてなし料理

今月のメインは「松茸」です。5品の内、4品に松茸を使うなど、どれがメインかわからないぐらいの「松茸づくし」でした。前日に当日調理に使用する松茸を披露させて頂き、入居者の皆様は大変楽しみにしておられました。夕食の時間が近づくとともに、香ばしい焼き松茸の匂いが1階フロアに広がりました。今回は最高食数であったので、厨房は大忙しでしたが、お膳に並んだ松茸料理を見て、皆様が満面の笑みを浮かべて下さいました。「すごいねぇ」「1品じゃないの?松茸がいっぱい」「美味しい!」と入居者の皆様は大変喜んで下さいました。普段食事が少ない方も完食され、柔らかいものしか食べられない方には食べやすい調理工夫をする事で、全入居者に喜んで頂けました。

来月のメインは中華か洋食で検討中です。



- (お品書き)
- ・松茸ご飯
 - ・松茸入りすき焼き
 - ・焼き松茸
 - ・松茸のお吸い物
 - ・春菊の胡麻和え

地域ルピナス講習会のお知らせ

第55回東大阪地域リハビリ勉強会

⇒高齢者の骨折と予防

開催日：平成29年10月19日(木)
時間：午後6時00分～午後7時00分
場所：東大阪市立東体育館 第三研修室
講師：ルピナス理学療法士 池田遼



第25回忠岡地域リハビリ勉強会

⇒在宅におけるSTについて

開催日：平成29年10月27日(金)
時間：午後6時30分～午後7時30分
場所：忠岡町文化会館 3階会議室
講師：ルピナス言語聴覚士 北村由佳

第16回城東地域リハビリ勉強会

⇒パーキンソン病のリハビリテーション

開催日：平成29年11月18日(土)
時間：午後6時00分～午後7時00分
場所：城東区民センター 中会議室
講師：ルピナス理学療法士 山口勇樹



第10回医療法人こうあん地域ケア講習会

第81回奈良地域リハビリ勉強会

第21回木津川地域リハビリ勉強会

第5回登美ヶ丘リハビリテーション病院、こうあん診療所、株式会社ルピナス合同講習会のお知らせ
テーマ：在宅リハビリテーションの在り方について

開催日：平成29年10月18日(水)
時間：午後3時00分～午後5時00分
会場：登美ヶ丘リハビリテーション病院会議室
参加費：無料

⇒『リハビリテーションと栄養』

講師：登美ヶ丘リハビリテーション病院 栄養課 主任 西井穂

⇒『平成30年のダブル改正に向けて～医療と介護のリハビリテーションで連携に必要な準備～』

講師：株式会社ルピナス法人本部 本部長 / 医療法人こうあん 事務長 中井智洋
医療法人こうあん訪問リハビリ 副主任 竹村真樹

